

眞田喜七 きしち 詩人。明治二十七年神奈川縣生れ、昭和二十四年八月十七日没（一九〇一死）。

著書、詩集『雲の時計』（昭和十五年六月八日書物展望社）、同『誕生と死』（昭和十七年八月二十日山雅房）、『詩物語―戦死せる軍醫 うたものがた』（合著、昭和十九年十月十日愛宕書房）、大村裕葉氏の靈に捧ぐる』（合著、昭和十九年十月十日愛宕書房）。

詩集『白檀』（昭和二十一年二月二十八日昭森社）等。